



都発第 34号

平成19年5月1日

国土交通省道路局長 様

鶴岡市長 富塚陽



中期的な計画作成にあたっての意見の提出について

貴職におかれましては、日頃より本市の道路行政への取り組みについて、ご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け、国道企第114号にてご依頼ありました表記につきまして、本市の基本的な考えを踏まえた内容について、別紙の通り取り纏めましたので、よろしくお取り計らい下さるようお願いいたします。

問い合わせ窓口

山形県鶴岡市建設部都市計画課

課長 齋藤雅文

電話 0235-25-2111 (内線 461)

F A X 0235-25-2059

道路整備の中期的な計画作成にあたっての意見 — 1・5・2007
(鶴岡市)

一 市勢の概要と地域づくりの基本的課題

鶴岡市は、平成17年10月、周辺の4町1村と対等の合併をし、人口規模・約10万の旧鶴岡市を中核に、総人口14万2千人（平成19年3月現在）、また面積では東北一位、全国十位の13万㊦の規模で市政運営を始め、1年7ヶ月が過ぎました。この間、合併措置に対して政府から財政支援を戴き、とくに道路整備費として、19年度には35億円の支援決定の通知を戴いており、今後も引き続き支援を続けて下さることを期待しつつ、感謝申し上げます。

こうして発足した鶴岡市であります。一方において、豊かに恵まれている自然資源、優れた特性ある産業・文化資源の保全・有効活用を図ると共に、全国各地で顕著になりつつある人口の少子高齢化と人口減少傾向の中で、若年層などの人口流入と交流を特段に活発化させ、地域の活力の維持・振興に努める必要があります。そのため、とかく十分な配慮に欠けていた「まちの生活機能」を総合的に充実させると共に、とくに当市の優れた特性をも十分に活かされる「まちづくり」を、総合的な観点から積極的に推進する方針であります。そして例えば、こうした「まち」において優れた人材の交流を活発に促し、今後全国的に地方都市をも含めて進展が予想される「知識集約型産業」主流の時代に、その一翼を担っていきたいと考えております。そしてまた、こうした方策の成果を十分に挙げていくには、道路等交通のネットワークがきちんと形成されていることが何よりも重要な前提だと考えます。

以上、当市では、こうした考え方を基本にしながら、次の基本的な施策の推進に努めているところであります。

- 1) 高速交通など社会資本の整備および維持・保全の促進
- 2) 国の厚生労働省の指定モデルになった健康対策による、市民の健康・福祉の増進、そのための施設整備の促進
- 3) 2万㊦の優良農用地と約10万㊦に及ぶ森林地域と共に、日本海に接する約42㊦の海浜地域を基盤に、農林水産業の再生・振興の推進
- 4) 学術・研究機能の集積の拡充と関連する知識集約型産業の振興による、とりわけ若年層の人口流入・定着の促進、
- 5) 全域に亘って広く形成されている伝統的な文化・産業資源など、固有の

貴重な資源の保全と有効な利用の促進

6) 地域コミュニティの維持・再構築と活動活発化の促進、また過疎化の進行が顕著な地域に対する振興対策の速やかな策定と所要措置の実施

＜主要施策の例示一概要＞

以下、主な事例について概要を申し上げる。

A) 健康・福祉対策 — 平成7年度から、厚生労働省のモデル事業の「生活習慣病モデル事業」「ヘルスアップモデル事業」として実施した結果、良好な結果が得られたので、平成20年度から国の一般施策として実施すると聞いている。事業は、個々人の体質に合う健康対策について助言指導をし、実践させるもので、とくに高齢者の健康増進にとって、評価されている。

B) 平成13年に県と共同で財政支援をし、慶應義塾大学の先端生命科学研究所を開設した。研究所では細胞内にある全代謝物質を分析する技術を開発し、世界的な注目をも浴びており、今後、新たな対症療法による医療・食品工業の企業導入や農業分野の科学的究明に貢献することが大きく期待される。従って、引き続き試験研究の支援を続けると共に、研究成果を活かす産業創出・振興を促進するための施設を整備し、製薬企業や食品企業、分析機器開発企業の導入、企業化の促進を図り、そのほか理化学研究所の研究活動も始めて戴いた。また山形大学農学部や鶴岡高専などと農産物等の地域資源を活用した新製品開発、新たな産業の構築、地域産業（食品、シルク）の再生に取り組んでいる。

C) 農業分野では、優良農地を基盤に、庄内米の生産を主体とし、枝豆（だだちゃ豆）、蔬菜、温海かぶ等の在来野菜の生産を続けているほか、とくに有機栽培米の栽培や植物を原料とするディーゼル燃料の製造など環境保全型農業の振興に努めている。また、森林の保全と多様な活用—とくに児童・生徒や青年たちの健康増進、学習・研修など—のため、ドイツの黒い森（南シュバルツバルト）と連携して学びながら、森林空間づくりにも取り組み始めている。

二 道路整備をめぐる新たな課題・国への要望

1 日本海沿岸東北道および東北横断自動車道酒田線の整備促進

経済の国際化、企業間、農業等産業の地域間の競争の激化が進む中で、国土の均衡ある発展を追求していくには、諸々の分野において、徐々に地域間の機能分担を図る方向で集積を形成させ、運営するシステムづくりが重要になると考えます。とくに産業の分野において、日本は知識集約型の分野で大きな役割

を担うものと思われませんが、その促進を図るには、所要の機関や施設を設置する場所を、必ずしも大都市に限ることなく、むしろ自然性、文化性の豊かな地方都市にこそ集積するのが適切だとも思われます。これから、知的人材の流入・定住を促す都市は、ゆとりを感ずる優れた地方都市ではないかと考えるからであります。因みに当市の場合では、慶応義塾大学の先端的なバイオ研究の活動において、主要都市の大学研究機関との間でクラスターを形成し、協調しながら研究を続けております。

そうした意味で、国内の都市間の高速交通のネットワークを完全に整備することを強く要望いたします。それがあって、今後とも国土の均衡ある発展と国力の増強が大きく促進されると存じます。

2 道路交通ネットワークの整備・促進

当市は、このたび市町村合併を断行し、その結果、面積にして東北一になり、とくに広大な中山間地域を抱えることになりましたが、道路交通の適切なネットワークを形成するには、なお道程遠しの感が否めません。

まず、海岸部の急峻な山岳丘陵部や月山山岳部の地すべり地帯を通過している国道の迂回路がなく、その整備を始め、これと同様、補助国道、主要地方道、一般県道、市町村道の迂回路の整備の問題、およびこれら各道路の豪雪・地吹雪など克雪対策を進めるなど、なお多くの課題が残っています。さらに当市は472もの散在集落を抱える極めて広大な地域になったため、住民の日常生活圏域は、新潟県の山北町をも含んで甚だ大幅に拡大し、消防・防災・救急の救済行動圏・域内交通のパターンも変化しており、そうした諸々の変化の結果、交通のネットワークの具体的構想も改めて見直す必要が生じてきたと思われまます。さらには、これら総ての道路施設は、徐々に老朽化が進行している筈なので、その補修・改築の需要も徐々に大きくなって行くと予想しなければなりません。(因みに、市道の中で災害時に交通途絶の要因になる虞がある橋梁は298橋と見られ、その架け替えでも168億円を要すると思われまます。) 総じて申し上げれば、以上のことから、これから求められる道路整備の事業は、これまで考えられてきた構想に追加を要するものがかなり生じ、現在、我々が要望している道路整備費を上回ることがあっても、下回ることはないものと思われ、この点について、特段のご理解を賜りたいと存じます。

3 まちづくりとの調和・連携をさらに強化した道路整備の促進

一方、「まちづくり」について、当市の山王町の商店街では、これまでの道路幅員のままに伝統的商業文化の環境を尊重し、歩道のバリアフリー化を進めるのにとどめる、などの画期的な方針でまちづくりに取り組んでおります。また鶴岡の街路づくりでは、前後の遠景として秀麗な鳥海山や金峯山等、周囲の山々を眺望できるレイアウトになっており、沿道の景観にも伝統的な魅力を織り込んだ箇所が幾つかあるので、市街地に建物の高度制限を行ったり、商店街の環境づくりに、住民の参加も得ながら、色々な支援策を講じております。道路とまちとの一体的関係は、古くから親密だったと思いますが、いま改めて市民と共にこのことを強く再認識させられているところであり、今後とも他地区の市民にもよく伝えたいと考えているところです。

このうち、山王町商店街のまちづくり計画の検討は最近になって始めたもので、事業はこれからですが、歩道や道路側溝の整備、電柱などの整理など、概ね交通の安全性、快適性を確保するのに留まる見込みであります。全体の事業量としては、かなりの額に達すると思われまますので、その所要財源の確保について特段の配慮をして戴きたいと存じます。

4 その他、補足事項

市内の中山間部には、国道345号が縦貫しており、主要幹線としての機能と共に、国道7号との間で、災害時の補完道路として重要な役割を担って貫っております。昨年、国道7号が蒙った土砂災害時には、普通車の迂回路になりましたが、幅員が狭く未改良区間が多いため、十分な機能を果せない状況でありました。従って、当該国道の整備を促進することに改めてご理解を戴くと共に、その他、補助国道の整備を促進するため、これを道路整備臨時交付金の対象になりますよう、制度を改善して戴きたく、お願いいたします。

以上、諸々のことを申し上げましたが、当市といたしましては、この大きな時代の変革期にそなえ、特性ある優れた地方都市づくりを、多くの市民の参加・協力を得て進める所存であります。その大前提として、高速道路をはじめ、一般国道から市道までを含め、従前にも優る規模の新設整備および改良事業の促進に特段のご配慮賜りたく、衷心よりお願い申し上げます。